

## 令和7年 木曾広域連合第1回定例会行政報告

令和7年2月28日

本日は、木曾広域連合第1回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、何かとご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。日頃から広域行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が国に未曾有の被害をもたらした、阪神淡路大震災発生から今年で30年が経過しました。初めて震度7を記録したこの地震では6,434名の方がお亡くなりました。お亡くなりになった皆様に改めて、心よりお悔やみ申し上げます。

1月には宮崎県で震度5の地震が発生し、高知県、宮崎県に津波情報が発出され、南海トラフ地震臨時情報が発表されました。

また、2月には日本海側を中心に、最大級の寒波が到来し、1晩で1mを超えるような大雪にみまわれ、除雪作業中にお亡くなりになる方もおり、住民の生活に大きな影響が出ました。

御嶽山では火山性の地震が増加し、噴火警戒レベルが2022年に続き2に上がりましたが、現在は落ち着きを取り戻しつつあります。

災害に対する危機感が高まるなか、普段からの心構えや準備の必要性を改めて感じたところです。

ところで、木曾郡の人口ですが、1月1日付で23,781人となり、昨年と比べ573人減少しました。高齢化率は44.2%となっています。しかしながら、上松町は2年連続社会増となるなどうれしい兆しもあり、人口増に向けて移住施策を木曾郡一体となって進めたいと思います。

次に、本定例会に提出しました議案について申し上げます。

令和7年度当初予算・一般会計につきましては、予算総額を36億1,900万円余とするもので、対前年比3億8,100万円程の増額計上となっています。

主な事業は、CATV機器設備更新に4,200万円、旧木曾寮解体工事に1億3,200万円、環境センター補修工事などに8,000万円、木曾クリーンセンター補修工事に1億6,500万円、第3期分、町村橋梁点検業務に8,400万円、消防通信指令共同事務に係る高機能通信指令台整備事業に3億1,000万円などを計上しています。

一般会計を性質別に見ると、人件費は、前年度比2千4百万円余の増となる9億5千万円（正規職員分）に、物件費では、6千7百万円余の減となる14億2千万円に、普通建設事業費では、9千万円余の増となる4億7千万円となります。

介護保険特別会計では、当初予算の総額を、39 億 8,600 万円余とし、対前年度比 1 億 5,000 万円余（3.9%）の増額予算となりました。また、汚泥集約センターの下水道事業会計では、収益的収支における当初予算の総額を、9,400 万円余とし、対前年度比 1,600 万円程（14.4%）の減額予算となりました。

以上、3 会計の当初予算編成にあたりましては、第4次木曾地域振興構想の基本理念と共に、令和5年度から9年度の事業方針を示した第6次広域計画を念頭に置き、さらに特別会計では第9期介護保険事業計画及び地方公営企業法などの指標を下に、構成町村との協議を重ねてまいりました。社会情勢を見極めつつ、適正な予算執行と業務遂行に努めてまいります。何卒、ご理解の上、ご審議をお願い申し上げます。

それでは、11 月定例会以降の各課の事務事業を報告します。

#### □総務課

- 昨年 10 月より令和7年度当初予算編成に取り組んでまいり、1 月 24 日（金）の正副連合長会議にて予算案を決定し、本日の上程となりました。十分な審議をお願いいたします。
- 2 月 12 日（水）に消防職員採用 2 次募集・面接試験を実施し、7 名の応募者の中から 3 名の採用者を決定しました。これで、令和 7 年度の職員採用試験は全て終了し、先に行われた 1 次募集と併せ、一般職 3 名、消防職 4 名計 7 名の採用者を内定しました。

#### □地域振興課

- 地域間交流事業として、1 2 月 1 日（日）に「常滑市農業まつり」、7 日（土）には「かすがい環境フェス」において、木曾ひのきの箸づくり体験とボールプール遊びを、2 月 1 日（土）には、春日井市の多世代交流拠点施設「グルッポふじとう」において、郡内事業者による木曾ひのきを活用したワークショップを開催しました。体験を通して水源地の森林の果たす役割りや森林保全の必要性についての啓発活動に取り組みました。
- 第4回木曾地域公共交通活性化協議会が1月27日（月）に開催され、木曾地域公共交通利便増進実施計画素案及び公共交通再編事業における運賃素案が承認されました。パブリックコメントによる意見募集をふまえ、今年度3月に計画策定及び運賃決定の予定です。令和7年10月の運行開始に向け、運行管理体制の構築を進めてまいります。
- 日本遺産制度 10 周年となる、日本遺産の日PRイベント「日本遺産マルシェ」が、2 月 1 5 日（土）・1 6 日（日）に京都市で開催されました。構成文化財に関連した物産販売や木曾地域の観光PR を行い、関西圏での日本遺産木曾路の認知度向上に取り組みました。

- 2月27日（木）に木曽川流域みん・みんの会の「水源の里基金」を活用して、木曽青峰高校インテリア科の生徒5名が制作した木製玩具5点の贈呈式が名古屋市科学館で行われました。これまでに、木曽地域の木材を活用して制作した玩具37点が寄贈されており、同施設を訪れた親子に楽しんでいただいています。
- 関係人口創出イベントを、今年度2月までの間で7回開催しました。都市部での事前移住セミナーや木曽の暮らしを体験していただく木曽ツアーの開催、木曽地域内外の交流の場、創出として、地域の文化や食をテーマに地域交流会を開催し、延べ60名の方が参加されました。今後もホームページ等での情報発信に努めてまいります。

#### □健康福祉課

- 12月23日には、木曽病院濱野院長と北川救急部長のご同行により、信州大学医学部に、来年度の木曽地域の一次救急医療への医師派遣の依頼を行いました。また、2月5日には、木曽地区医療協議会の定期会議を開催し、関係各位と意見交換を行っております。

今後も一次救急の医師配置、医師等、地域の医療人材確保に向けた協議に努めてまいります。

#### □環境課・クリーンセンター

- 不燃ごみ処理施設では、民間委託から1年ほど経過しますが、支障なく業務遂行されています。可燃ごみ施設では、2月24日（祝日振替日）に一般家庭を対象として特別持込を実施いたしました。次回の祝日持ち込みは、3月20日（春分の日）を予定していますが、利用件数、要望等検証し休日持ち込みについて、住民のニーズに沿った対応を検討してまいります。

#### □建設課

- 「橋梁定期点検一括発注業務」は4町村（木曽町、上松町、南木曽町、大桑村）あわせて160橋の点検を2月27日（木）までに終わりました。この結果を踏まえ、町村担当者と連携を図り今後の修繕業務を進めてまいります。

#### □情報センター

- 12月末に、内部ネットワークをインターネット系からLGWAN系に移行しました。これにより、広域連合のシステムは町村と同様に、総務省の進める三層分離（基幹(住

基)・LGWAN・インターネット)に適應したものとなりました。

- DX 関連では、ドローンインフラ整備事業（長野県地域発元気づくり支援金活用）の一環として、1月28日に上松町、南木曾町、大桑村の3か所で、設置した離着陸座標・飛行ルートを利用した、お披露目フライトを実施しました。荒天ながら50名余りの皆さんに参加をいただき、災害時の支援、今後のドローン活用について説明を行いました。
- デジタル回覧板の導入については、2月14日から木曾防災・暮らしの掲示板及びケーブルテレビでの試行を行っております。1か月程度試行の後、3月頃から本格稼働として住民周知を行い、広く活用を促していきます。  
自治体DX・ICT利活用計画の実施状況については、全員協議会にて報告させていただきます。

#### □木曾文化公園

- 12月8日(日)に「木曾観測所50周年記念シンポジウム」が開催されました。  
記念講演では、「木曾シュミット望遠鏡～半世紀の成果と今後への期待～」と題して、国立天文台長の土井守氏にご講演いただきました。また、50周年記念パネルディスカッションでは、阿部長野県知事もパネリストを務められ、「長野県の夜空に広がる無限の可能性～星空を活かした木曾地域の活性化について～」をテーマに意見交換が行われました。
- 12月15日(日)に「スタインウェイを弾こう!!クリスマスコンサート」を開催しました。「プロのようにホールで演奏してみたい」という希望にこたえた演奏会です。当日は、YouTubeによるライブ発信も行い、多くの皆様に演奏をお楽しみいただきました。
- 1月26日(日)には「かるぱるコンサート」として、上松町出身のピアニスト「宮下絵美」さんによるピアノコンサートを開催しました。ベートーヴェン「三大ソナタ」の解説も入れた演奏を多くの方にお楽しみいただきました。
- 2月8日(土)には共催事業による「清塚信也&吉田翔平アコースティック・デュオコンサート」を開催しました。人気のアーティストのためチケットは完売で、県内外から多くの方にご来場いただき、演奏をお楽しみいただきました。
- 令和6年度3月までの開催事業として、3月23日(日)に「春休みファミリー映画鑑賞会」、30日(日)には、「よらまいか寄席」を予定しています。

#### □環境センター

- 緑聖苑では、1月末現在383名の火葬を行いました。昨年同時期より2名多くなっています。11月以降新型コロナウイルス感染症の方の受け入れは無く、感染症対策は手指消毒やマスク着用等の基本的感染予防で対応しています。
- 環境センターのし尿受け入れ量は、1月末現在で3,217kl、浄化槽、農業集落排水は9,262kl受入れています。昨年同時期よりし尿が73kl、浄化槽関係が539kl、いずれも増加しています。また、汚泥集約センターの受け入れ量も、9,060 m<sup>3</sup>で、昨年同時期より20 m<sup>3</sup>増加しています。

#### □消防本部

- 昨年一年間の火災出動は13件（前年比5減）となり、内訳は、建物が5件（8減）、車両火災0件（前年比2減）、その他の火災が8件（5増）となりました。また、救急件数は、1,739件（前年64件増）と昨年を超え、発足以来最多数となりました。急病が全搬送の65%を占めています。主な搬送先は、木曽病院へ1,136名（35名減）、中津川市民病院へ176名（12名増）、伊那中央病院へ109名（15名増）となりました。

今回提出の議案であります。条例改正等6件、令和6年度補正予算が2会計の2件、令和7年度当初予算が3会計の3件全9件でございます。

各議案につきましては、事務局長から提案し、その詳細につきましては、担当課長より説明します。なお、定例会の会議中と会議後に全員協議会を予定しております。

ご審議の程、ご理解を賜われますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。